

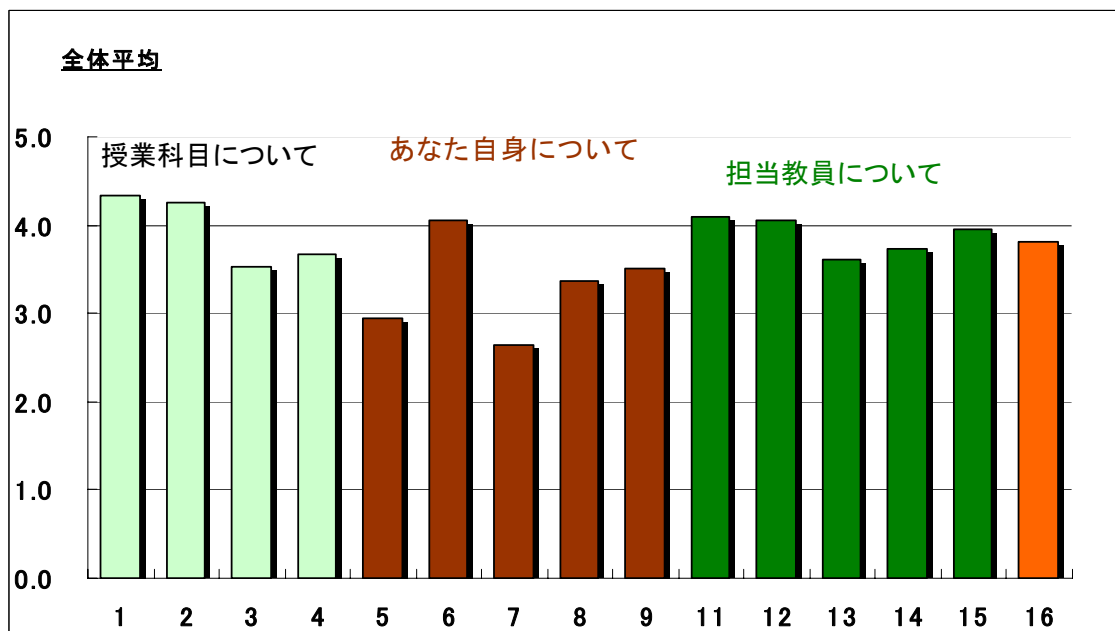
2007 年度春学期

1. 5 段階評価の全体集計結果

(ア) 学生の自分自身に対する評価（質問 5 から 9）は、2.6 から 4.1（「あまりそう思わない」から「ややそう思う」）の間にあり、学生の謙虚な態度がうかがえる。

(イ) 学生は、担当教員に対して、自分自身に対するよりも寛容な評価（質問 11 から 15）をしている。質問 13「板書やビジュアル機器は見やすかった」がもっとも低い評価で 3.6（「どちらともいえない」）であった。

(ウ) 学生の授業への出席率（質問 6）は全体で見た場合 90%強である。



※横軸の数字は質問の番号、縦軸の数字は 5 段階の評価点。

質問内容

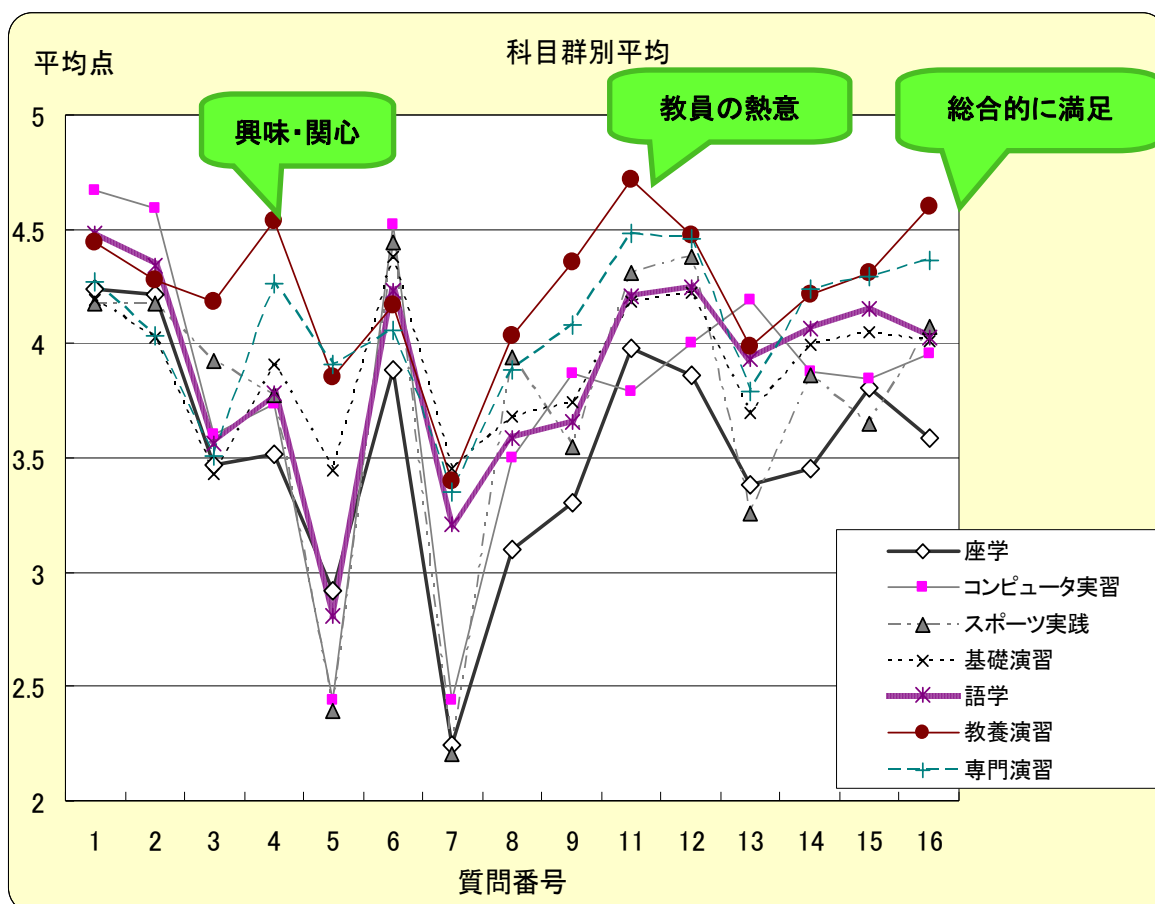
(1) 授業科目について：「1. この授業の開始時間は守られていた。」「2. この授業の授業環境（教室の広さ、明るさ、温度など）は整っていた。」「3. あなたにとってこの授業内容のレベルは」「4. 授業の内容に興味・関心が持てた。」

(2) あなた自身について：「5. この授業のシラバスをよく読んだ。」「6. この授業への出席割合はどれくらいですか？」「7. この授業の予習・復習を十分に行った。」「8. あなた自身が熱意を持ってこの授業に臨んだ。」「9. この授業を履修したことで、基本的考え方や知識（実習科目の場合は技能）を習得できた。」

- (3) 担当教員について：「11. この授業に対する教員の熱意が感じられた。」「12. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかった。」「13. 板書やビジュアル機器(パワーポイント、OHCなど)は見やすかった。」「14. 学生の反応や受けとめ方などに配慮しながら授業を進めていた。」「15. 私語を注意するなど授業の静寂を確保していた。」「16. 総合的に見てこの授業に満足できた。」

## 2. 5段階評価の科目群別集計

- (ア) 演習科目および語学など、少人数のクラスの科目の平均点がほぼどの質問においても高い。中でも教養演習がもっとも高い。
- (イ) 座学科目は、すべての質問に亘って平均点が低い。
- (ウ) 授業の満足度は、高い方から教養演習、専門演習、スポーツ実践、基礎演習、コンピュータ実習、座学の順である。
- (エ) 座学科目において「予習・復習を十分に行った」の平均点がとくに低い。
- (オ) 「授業の内容に興味・関心が持てた」「この授業に対する教員の熱意が感じられた」の二つが「総合的に見てこの授業に満足できたかどうか」に顕著な影響を与えている。



### 3. 授業評価アンケート結果に対する教員コメント

全教員（非常勤講師を含む）に、受け取ったアンケートの結果に対してコメントを書いて頂きました。ここでは得られたコメントを、「教材提示方法に関わること」「学生の興味を高めるための工夫」「設備改善に関わること」「授業内容のレベルに関わること」「授業・指導方法に関わること」「予習・復習を促す工夫」「授業形態に関わること」「板書の仕方に関わること」の8つのカテゴリーに分けて紹介します。

#### (ア) 教材提示方法に関わること

- 授業内容に係る現物資料を提示するのは効果的である。
- 動画を含め OHC 利用による分かりやすい教材の提供している。
- 授業内容に関わる（理論を応用した）物品を回覧して、講義内容が自分たちの生活に結びついていることを実感させている。
- パワーポイントのハンドアウトは評判が良い。
- 毎回プリント配布しているにも関わらず、板書に文句が出るのは不可解である。
- 学生によるプレゼンテーションを取り入れると良い。
- プリントを上手に活用すべきである。

#### (イ) 学生の興味高めるための工夫

- 講義内容に関連情報を付加すると学生の興味拡大に繋がる。
- 興味を高めるため各国の文化を紹介した。
- 基礎演習で「人としての生き方」を学んだという意見があった。
- 他の分野も含めたさまざまな知識を使うと学生の興味を引くことができる。

#### (ウ) 設備改善に関わること

- 教室に設置されたプロジェクターの電源が入らないことがある。器材の管理をキチンとして欲しい。
- 体育館の更衣室が狭い。
- ゼミ室にエアコンを設置して欲しい。
- 一律の温度設定は良くない。
- 網戸が廊下側の窓にはないため、虫さされに悩まされた。
- 教室が広すぎる。
- 教壇と黒板との間の距離がありすぎる（A 講義棟？）。
- 114 教室にあるビデオ機器は改善の必要がある。

#### (エ) 授業内容のレベルに関わること

- 「難しかった」の評価は、しっかり勉強していない学生の評価と思われる。そのような学生のために授業のレベルを下げるわけにはいかない。
- 講義のレベル設定が難しい。
- 遅刻者への対策が甘い。
- 「難しい」への対策には苦慮している。

- 大学での学び方をトレーニングする必要がある。
- 基礎知識を補いながら授業をする必要がある。

(オ) 授業・指導方法に関わること

- 毎回小テストを実施している。
- 時々小テストを実施し、学生の学習努力を促している。
- 授業中に問題演習をさせるのは良い。
- 講義の終わりに問題を出して（学生自身および教員が）理解度確かめる。
- 授業中の私語や態度の悪い学生を許さない。
- 体を動かす機会を通じて自然に学生間のコミュニケーションが促されている。
- リスニングでペアによる活動を行わせた。
- 小グループ（5, 6人）による全員参加型の授業を行っている。
- 会話を通してディスカッションの訓練をさせている。
- 歌を通じてのリスニングは効果的がある。
- 説明が簡潔でわかりやすいという意見をもらった。
- 学生に優しく接する。
- 難しい内容でもわかりやすく説明する。
- やる気を失わせる発言は良くない。
- 演習（ゼミ）の進め方、基礎知識の確認、レジュメの作り方等好評であった。
- 学生が主体となっていく授業は良い。
- 学生の集まりが悪いときには、CDを流したり、先週の復習に充てる。
- 研究テーマを1人1人に設定し丁寧に指導した（専門演習）。
- 実習時間に頻りに机間巡視して質問に回答している。
- 学生に配布している資料には訳文や要約を付しているのに、活用してもらえていない。
- LL教室の設備をもっと活用して欲しい。

(カ) 予習・復習を促す工夫

- 大教室の授業では予習・復習を十分にさせることは困難である。
- 予習・復習を充実させるための方策に苦慮している。
- 学生が予習・復習がしやすいようにダビングの必要のない教材を利用（語学の授業）している。

(キ) 授業形態に関わること

- 基礎演習は必修科目でありながら、抽選で割り振られるのは問題。基礎演習の内容を均一化したほうがよい。
- ゼミ生の数が適正であったため活発な討論ができた。

(ク) 板書の仕方に関わること

- 学生は教員に対して板書の充実を求めている。

- 板書の文字はきれいに書くべきである。
- 板書の仕方を工夫することは重要である。